

## 委員会審議の内容

### 政策総務常任委員会

税条例の一部を改正する条例

「可決」  
年金の支払額は、基本的に1年度決められた金額については毎年同額で変わらないため、前年度の後半部分の額を翌年度の前半部分に仮徴収しても年度の後半で徴収する額は、上がったりがったりということはありえないことから制度設計されていると感じています。

「可決」  
鴻巣市都市計画税条例の一部を改正する条例

専決処分の内容は、鉄道再生事業



税の相談窓口

### 文教福祉常任委員会

「可決」  
鴻巣市体育施設条例の一部を改正する条例

廃止届がされた路線についての措置をさかのぼり規定していくものです。改めて上程した部分は本市に影響はありませんが、継続が困難と認められる鉄道路線について、鉄道事業者、自治体等が運営に係るような計画をするこの条文に該当します。

「可決」  
鴻巣市監査委員に関する条例の一部を改正する条例

監査委員による健全化判断比率の意見書に関しては、法律上報告しなければならぬ。従来は決算意見書は、議会の承認を得なければならぬという違いはありますが、あくまでも監査委員の意見書は報告するということになっていきます。

「可決」  
平成20年度鴻巣市一般会計補正予算(第1号)

フラワー号は、来年の1月で7年が経ち、耐用年数が過ぎているため新規4台と新しい常光、笠原コース2台をプラスし6台必要と考えています。9台ですべてのコースを回し、1社に市域全体のバス運行を任せます。計画です。

### 文教福祉常任委員会

「可決」  
鴻巣市立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例

かわさとグラウンドゴルフ場の管理を指定管理者に行わせるために改正を行うもので、市内の体育施設としては最後の指定管理となります。指定管理者によって不都合が生じないようにモニタリング制度によって定期的にチェックします。万が一、指定の停止や取り消しの措置をする場合、教育委員会が責任をもって施設を管理することになります。川里中央公園ほかとともに一括集中管理するもので、管理者を募集後プロポーザル方式で選定し平成21年4月より移行する計画です。

「可決」  
平成20年度鴻巣市一般会計補正予算(第1号)

民生費は、後期高齢者医療特別会計における電算システム改修に要する繰り出し金で、教育費は小中学校施設でのトレモライトなど3種類のアスベスト追加調査委託料と赤見台第二小学校の給食用備品購入、北中学校の電気幹線改修工事費用などです。社会教育関係では、箕田公民館、常光公民館、川里図書館などの施設修繕料を追加するものです。

「可決」  
平成20年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

一般会計予算補正で繰り出した電算システム改修費用262万円の追加です。



中央図書館の図書検索システム

り移行する計画です。

鴻巣市立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例

「可決」  
合併に伴い、委員の定数を14人以上に増やしていたものを、元の10人以内に戻すものです。市内の図書館はコンピューターによって一元管理ができるようになり、10名以内の委員で対応可能となったものです。なお、委員のうち4名は団体等からの推薦、6名は一般から公募します。

「可決」  
平成20年度鴻巣市一般会計補正予算(第1号)

民生費は、後期高齢者医療特別会計における電算システム改修に要する繰り出し金で、教育費は小中学校施設でのトレモライトなど3種類のアスベスト追加調査委託料と赤見台第二小学校の給食用備品購入、北中学校の電気幹線改修工事費用などです。社会教育関係では、箕田公民館、常光公民館、川里図書館などの施設修繕料を追加するものです。

「可決」  
平成20年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

一般会計予算補正で繰り出した電算システム改修費用262万円の追加です。

## まちづくり常任委員会

市道の路線の廃止について

「可決」

地権者が宅地内に道路があることを知らずに、家屋の建て替えをしようとしたところ、公図上に道路がある事が分かり、用途廃止申請願いが提出されました。土地は国の所有であり路線廃止後の払い下げについては本人が国に申請します。

市道の路線の認定について

「可決」

道路側溝の勾配等について開発指導要綱に「道路設置基準」を設けており、この中で道路側溝の布設につ



鴻巣駅東口自由通路エスカレーター

いて定めています。道路側溝の排水勾配については、平均流速が毎秒0・5から1メートルが標準です。

これを勾配にすると0・15から0・5パーセントであり、これに基づき審査します。また、舗装が普通の舗装でなく申請協議の段階からタイル方式であり、道路舗装については維持管理が将来にわたって必要になることから経費の違いも考慮しなくてははいけないと考えます。

平成20年度鴻巣市一般会計補正予算(第1号)

「可決」

鴻巣駅東口自由通路エスカレーター修繕料に関し、事故の未然防止のため、部品の寿命等を調査し今後の適切な部品交換時期等、管理会社と内容を協議して利用者の安全に努めます。

平成20年度鴻巣市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

「可決」

該当宅については、三谷橋工事の計画に隣接しています。過去平成9年から15年までに行われた工事の際に本管を引き込んでいなかったため、今回移転先がはっきり決まり、新築する宅地までの約50メートルの間、本管工事をするものです。

## 市民環境常任委員会

鴻巣市川里農業研修センター条例の一部を改正する条例

「可決」

条例の第三条には事業に関する明記があります。利用状況や利用団体等具体的な内容は、農業者の事業として味噌作り、花組合の研修会議、川里フェスティバルや菊花展の会場となつています。また、農業者以外では、社交ダンス、フォークダンス、太極拳の団体等が利用しています。現在の職員配置状況は、正職員として、副課長、主査の2名が配属され、併せて臨時職員2名で週5日を交代勤務しています。



四季折々の顔を見せる農業研修センター

指定管理者制度に移行する事によって、経費の削減が図れるのは主に職員の人件費です。年間経費においても削減できる部分もありますが、人件費の部分が大きく削減できると考えています。しかし、これから指定管理者の募集をする予定なので、その金額は現段階では分かりませんが、議会に上程する段階で具体的な提案をしていきます。

平成20年度鴻巣市一般会計補正予算(第1号)

「可決」

一般コミュニティ助成事業では、そのほとんどが、祭道具の購入です。近年、祭道具の購入以外の例はありません。

それ以外に対象となる事業は、緑化推進事業、自主防災組織育成事業、コミュニティセンター助成事業、青少年健全育成事業等です。

ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願(議請第2号) 「不採択」  
世界の米の流通量は4270万トン。日本の米の輸入量は77万トン、1・8パーセント。米の相場への影響は考えにくい、フィリピンに20万トンの援助も決まりました。ミニマムアクセス米の輸入は車・電子産業の輸出との黒字バスターで始まったのです。